

都市再生整備計画（第2回変更）

こくぶんじちく
国分寺地区

かがわけんたかまつし
香川県高松市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	香川県	市町村名	高松市	地区名	コクフンジ 国分寺地区	面積	58 ha
計画期間	平成	23	年度	～	平成	27	年度
交付期間	平成	23	年度	～	平成	27	年度

目標

大目標 歴史・文化が調和するコミュニティ文化の創造を目指し、本市西部地域の生活交流拠点にふさわしい利便性の高い交流基盤の整備を図り、住民に身近なコミュニティの形成と多様な交流を実現する。

目標1 本市西部地域の文化活動や伝統文化の継承・鑑賞の場、また、地域住民の交流の場となる文化施設の整備を図り、地域に根ざした文化と豊かな生活を創造するまちづくりを進める。

目標2 本市西部地域の玄関口にふさわしいJR端岡駅北口の交通環境の整備を図り、利便性の高い交流基盤に支えられた活力と賑わいのあるまちづくりを進める。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・国分寺地区は、瀬戸大橋を経て本州に至るJRや国道を擁し、高松空港にも近いなど、地理的な条件を活かし、豊かな自然、文化環境を背景として、福祉、教育、文化を始め、住民の生活環境を図る施策が進められており、高松市と合併した平成18年1月以降においても、本市の西の玄関口として、若年層を中心に人口が増加傾向にある。

・こうした地理的優位性を活用し、この地域がさらに発展していくためには、これらの生活環境を基礎とし、地域の特性を生かした拠点整備とネットワークづくりを進める必要があり、住民の健康と福祉の充実、新たな地域コミュニティの形成、交流を支える拠点とネットワークの整備をまちづくりの基礎として、住民参加のまちづくりを進めていくことで、合併時のまちづくりプラン(建設計画)が取りまとめられている。

・また、市中心部を始め、近隣市町へのJRによる通勤・通学等は比較的便利な地域ではあるが、自動車を中心とした交通の実態となっている。特に、地域内の公共交通は、現在、コミュニティバスが運行されてはいるものの、利用率の低迷が続いており、端岡駅の利便性の向上と交通結節機能の強化を図ることが、地域住民の長年の懸案事項となっている。

課題

・国分寺地区では、新しい地域コミュニティの形成やまちづくりの核となる拠点整備、公共交通の充実など、参加と交流によるまちづくりを進めていくことが求められており、下記に掲げる2つの課題を解消し、本市西部地域の玄関口にふさわしい活力ある地域づくりを進めることとする。

① 本市における公立文化ホールの整備状況は、本格的なホールは、市内中心部に集中しており、国分寺地区を含む西部地域には、文化施設としての機能を中心とした式典や展示など、地域住民の交流の場となる多目的な施設の整備が求められている。また、施設の整備に当たっては、市町合併による建設計画に位置付けられており、地域住民からの強い要望がある。

② JR端岡駅は、市内JR各駅のうち、高松駅について2番目に乗降客数が多い駅であるが、駅北口には駅前広場と言えるものがなく、朝夕の通勤時には送迎の車などで混雑している状況のため、駅前広場の整備など、利便性の向上と交通結節機能の強化が喫緊の課題となっている。

将来ビジョン(中長期)

・平成20年度からスタートした第5次高松市総合計画では、国分寺地区の特性を生かした土地利用の形成と都市基盤の整備が重要と位置付けられており、まちづくりの方向として、JR端岡駅の利便性の向上を図ることや国分寺支所の有効活用と国分寺会館の連携を図りながら、地域の文化活動等の拠点となる文化施設の整備を図ることが位置付けられている。

・また、平成20年12月に策定した、都市計画マスタープランにおいて、都市機能の集積と市街地の拡大抑制によるコンパクトな都市構造および人と環境にやさしい公共交通を基軸とした「多核連携型コンパクト・エコシティ」を目指すこととしており、国分寺地区は日常生活に必要なサービス機能の集約拠点としての環境づくりを効果的に進める生活交流拠点として位置付けられており、地域の主要駅である端岡駅の利便性の向上などが挙げられている。

・なお、JR端岡駅周辺の整備など、文化施設と連携した駅を核としたまちづくりを今後、地元が主体となって進めていくため、地元主体の協議会である「JR端岡駅周辺整備検討協議会」を設置している。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
満足度	%	アンケートによる端岡駅利用者の満足度	駅周辺整備による駅利用者の満足度の増加を見込む	15.0%	平成21年度	40%	平成27年度
コミュニティバス利用者数	人	地域内交通	支所周辺のコミュニティ機能の向上により利用者の増加を見込む	2.8人/便	平成21年度	3.5人/便	平成27年度
文化施設の入場者数	人	新たに整備される文化施設の利用者数	既存施設との連携を図り、文化施設の利用者増加を見込む	—	平成21年度	10,000人	平成27年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(文化活動や伝統文化の継承・鑑賞の場, 地域住民の交流の場となる文化施設の整備を図り, 地域に根ざした文化と豊かな生活を創造するまちづくりを進める。) ・地域交流センターを整備することで, 地域住民の交流の場や文化活動等の活性化を図る。	高次都市施設(基幹事業/地域交流センター)
整備方針2(本市西部地域の玄関口にふさわしいJR端岡駅北口の整備を図り, 利便性の高い交流基盤に支えられた活力と賑わいのあるまちづくりを進める。) ・JR端岡駅北口を整備することにより, 利便性の向上と交通結節機能の強化を図る。 ・市道端岡駅西線に退避場を整備することにより, 朝夕の混雑時の安全性を確保する。 ・案内板を設置することで利便性の向上を図る。	道路(基幹事業/端岡駅停車場線)道路(提案事業/端岡駅西線) 地域生活基盤施設(基幹事業/案内板設置)
その他	

<都市再生整備計画の整備方針等>

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち該当整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る。)
- ・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。
- ・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

都市再生整備計画の区域

国分寺地区 (香川県高松市)	面積	58ha	区域	高松市(国分寺町新居の一部)
----------------	----	------	----	----------------

